



教室の後は、参加者らがラリーを楽しみました



硬式・軟式に分かれてレッスンを受けました

教室で使用されたテニスコートをはじめ、野球場、陸上運動場など、スポーツ公園施設の利用を希望される方や団体は、スポーツ公園管理棟まで、お気軽にお問い合わせください。皆さんのご利用をお待ちしています。

いいいてスポーツ公園管理棟
☎0244(42)0152

スポーツ公園

テニス教室

6月2日、いいいてスポーツ公園で、佐久間光弘南相馬市テニス協会長らを講師に、テニス教室が行われました。当日は、村内外から約20人が参加し、テニスを楽しみました。

今回の教室では、基本的なラケットの握り方や打ち方などをレッスン。加えて、プロのテニス選手の動き方なども教わり、楽しい雰囲気の中で、技術のレベルアップを図りました。この日はコートの無料開放も行われ、参加者からは、「分かりやすい指導で楽しく参加できた。プレーしやすいコートなので、また利用したい」などの感想が寄せられました。

主な事業と予算についてお知らせしています



菅野村長から予算の説明を聞く中学生

中学生が「村のお金」を学ぶ
「村民向け予算書」贈呈式

6月3日、飯館中学校で、「村民向け予算書」の贈呈式が行われました。村民向け予算書は、村の予算を、村民の皆さんに分かりやすく説明するために、村がこの20年間、全戸配布を行っているものです。式では、菅野村長が、生徒代表へ予算書を手渡し、全校生徒に向けて、スクールバス運行にかかる費用などを例に、村の予算・財源について説明しました。生徒からは、「東京オリンピックでのラオス選手団事前合宿受入事業の予算が余った場合はどうするのか」「スクールバス運行事業は、どうして1億円以上もかかるのか」という質問がありました。

式の後、菅野翔さん(3年)は「学校やスクールバスなどについて、たくさんのお金が使われていることが分かった。村のお金について、興味が湧きました」と感想を話しました。村民向け予算書は、5月の広報紙に同封して全戸配布していますので、ぜひご覧ください。

小中学校で特別授業

邦楽を学ぶ
～箏とギターのアンサンブル～



民謡やオリジナル曲などを目の前で演奏しました



こと箏とギターの音色響く

6月7日、小・中学校で「邦楽を学ぶ」箏とギターのアンサンブル」と題したコンサートが開かれ、「香音アンサンブル」の4人による演奏を、全児童・生徒が鑑賞しました。

メンバーのひとりで箏演奏者の大川義秋さんは双葉町出身で、震災後、避難先の高校で箏と出会い、現在は演奏家として音楽フェスティバルなどで活躍中です。大川さんは、箏と津軽三味線を披露し、「震災後、箏に出会い、癒されてきたので、音色を届けていきたい。日頃から、一日日を感謝して過ごしてほしい」と子ども達に思いを伝えていました。



スポーツ公園では、レベル毎のルートが設定されています



スポーツ公園

ボルダリング教室

6月23日には、ボルダリング教室が開かれ、子ども達を中心に15人が参加しました。ボルダリングは、2020東京オリンピックの種目にも選ばれたスポーツクライミングの一つで、気軽に行えるスポーツとして人気があります。

参加者は、講師の「スカイピア あだたらアクティブパーク」インストラクター・小笠原健二さんから、「ホールド」という突起物を使って登る際のコツや、急に登り始めずどんな動きで登るかイメージすることが重要なことなどを教えてもらいました。この教室で初めてボルダリングを体験したという参加者も、「通って上手になりたい」とさらなる意欲を見せていました。